

# AMAZING WORK

## 平安山/Henzan 良伍の仕事

舞台写真家・小川峻毅が撮影をして来た中で  
感銘を受けた照明デザインにフォーカスを合わせて  
『Amazing work』で発表していきます。





## 小川 嶽毅のImpression

『梅棒』の前身は、2001年に日本大学藝術学部ダンスサークル『BAKUの会』内で生まれ、2009年にはストリートダンス界の『JAPAN DANCE DELIGHT』でJAZZ DANCEでの特別賞を受賞し、それからは演劇・ダンス・J-POPと一緒にエレメントを多様化してStage performanceを主に活動してきた。多くのファンを集め各所からの注目度は半端なく、「抱腹絶倒」「奇想天外」「空前絶後」といった四字熟語がうかぶ集団の公演をLDでサポート(2011~)できたのは、今のCAT部長・影山氏だと訊く。今回、再演のLD担当は平安山氏で詳しいお話を次号のインター記事「今月の一本」をご覧戴ければ詳細を説明されてますので、ここでは観客目線での率直な感想を述べたい。芝居というにはテンポが早すぎ、ダンスというには枠が広すぎ、耳慣れたメロディーが聴衆の感性を揺さぶる劇場型 Dance entertainmentを如何に空間設定するか。高揚したい観客の背中を押すようにサポートしたLDは出しゃばることなく“煽る”! LIVE会場で芝居を見るような高揚感は、実はLDの仕業である。演出家、美術家、役者達の見事な連携が織りなすパフォーマンスを気付かれないように“煽る”見事なLDであった。

梅棒 18th "RE" SHOW『シャッター・ガイ』 作・総合演出:伊藤 今人[梅棒] 美術:二村 周作 映像:O-beron inc 衣裳:山下 和美 企画・製作:梅棒 2024.7.2 IMM THEATER



# 日本照明家協会誌

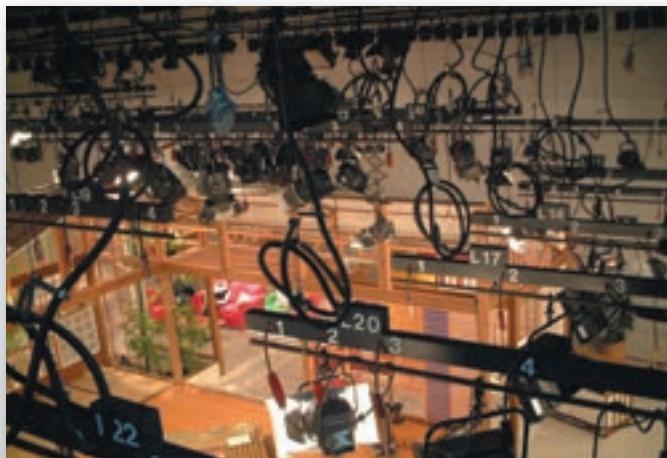
Journal of Japan Association of Lighting Engineers & Designers

No. 644  
2024 / September 9



## 今月の一本

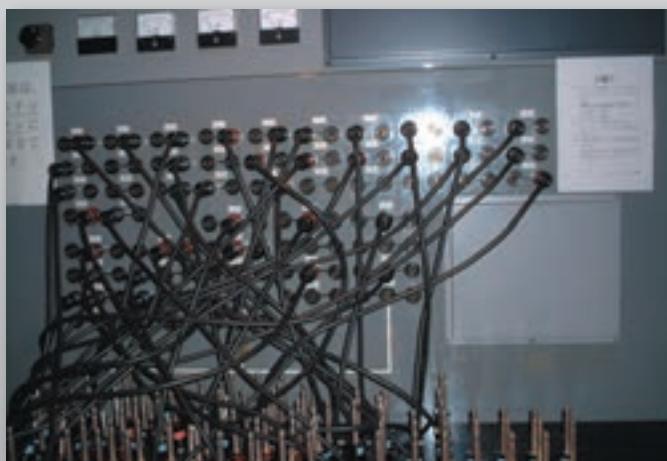
梅棒 18th “RE”SHOW 作・総合演出：伊藤今人 [梅棒] 振付・監修・出演：梅棒  
『シャッター・ガイ』  
～演劇だけれどもコンサート的な照明にしてほしい～



芝公園スタジオ



テレビスタジオ副調整室



強電パッチ



テレビスタジオバトン操作卓

